

いじわるなかみさま



え・ぶん なな

あるところ
いじわるがだいすきな
かみさまがいました。

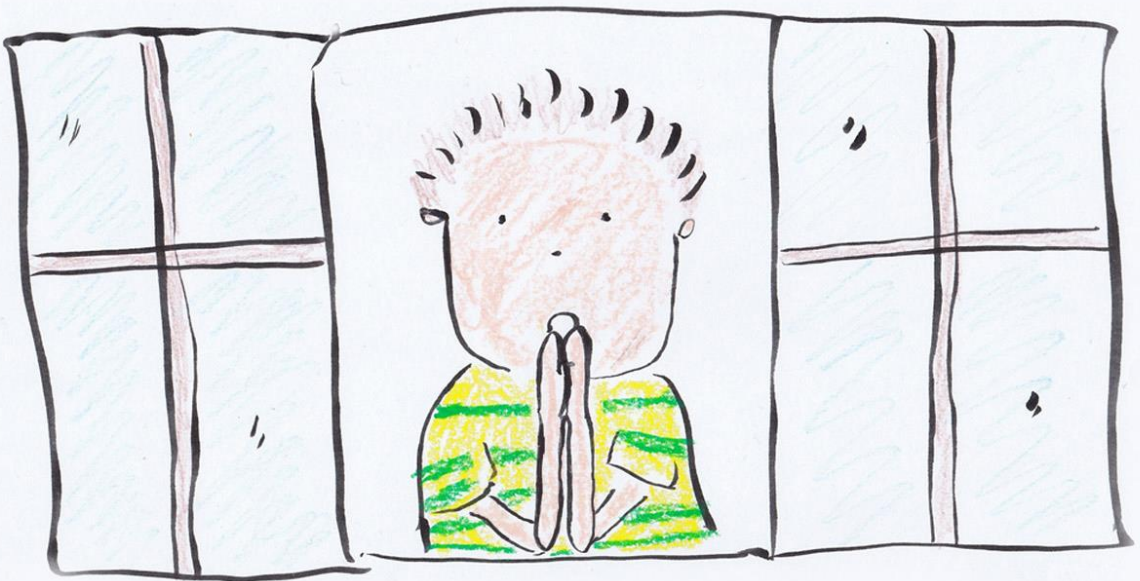


「かみさま、

あしたの

やきゅうたいかい

はれますように。」





「K50-1」





「かみさま、
ねこのみーちゃんが
かえってきますすよっぴだ。」





あるひ、やさしいあくまが

いました。

「いじわるばかりしてるよ」

「ごきぶりに なってしまっんだよ。」



「にんげんたちに おいかけられて
スリッパで たたかれてしまうんだ。」



それをきいて、
いじわるなかみさまは
とてもこわくなって
なきだしてしまいました。



すると、
かみさまのなみだが
ゆきにかわり
こどもたちは
おおよろこびしました。



それいらい
いじわるなかみさまは
にどと いじわるを
しなくなりましたとさ。



おしま

